

る半はんす時生すはる生るい件い  
断の分不に。にさ。いま活。けと。  
をはに足はた縁んあつでし現れマ財  
促ど処で不だ組のなでもて在どん産  
しいう分す動しす運たもないは一シは  
までし。産これ命と良くするそ棟ヨア  
たか縁動理学良吉手も子鑑管つを一欲  
。と組産能生い運のの縁定理て小トし  
決すを力さでの学で組すでいさ二  
る半はんす時生すはる生るい件い  
断の分不に。にさ。いま活。けと。  
をはに足はた縁んあつでし現れマ財  
促ど処で不だ組のなでもて在どん産  
しいう分す動しす運たもないは一シは  
までし。産これ命と良くするそ棟ヨア  
たか縁動理学良吉手も子鑑管つを一欲  
。と組産能生い運のの縁定理て小トし  
決すを力さでの学で組すでいさ二

## 一燈世談氣学占

古神道を探る  
(3) ← つづき

談

令和7年8月  
No.0006  
編集者  
西原・木村

道祖神

開寺いを僧男なへいのるざえ育いで意し不戒七鑑そい日  
創は 育侶子い浮け交るでち・生殺て殺を百真のて本  
てもはー氣なわをはに・き生は生改五に三紹の  
鑑な結重・ないり得羊く・物戒い戒め十よ 介主  
真大け婚要・どーは不な肉いこをへけへて三り律しな  
和本れしな・邪↓一淫いをヒレ殺快な生い年 宗ます  
上山ばて労遊淫不切戒か主マはさ樂いきま伝  
に唐い後勧牧は邪しへら食ラ穀なのー物す来  
よ招け繼力民い淫て男でにヤ物 感←を  
り提な者。のけ戒は女あせ超が 情快殺 五

## 日本十三宗

## 看護師ルン

スたかで死かあんこな外 せさだにてしかに感よなたなに反吸座し子てな ら死患  
ツ。と、にけのにぞが来あずせ！た。、ら がうがのり医応はつやさ欲く1帰ん者処たル  
キ患何死たた患あかられ帰たーい治結動な強とらかま師でしたいんしな0らでさ置頃  
り者かをいく者うの考スはらいとの療局かにく身、頭しに、てままといつ分れしん入  
しさ切連。なさの施えタ、れ気ごには、なすて体処のた連声いましーて位たまを院  
たんな想といんは設まツなま持立ないもいん試に置な。絡かる脱た緒と、し方い会の  
感のいすい氣は久にしフんしち腹にらうよの行触用かこしけが力。に、おてがた計予約  
じ後氣るう持、し入たやだたをでしな帰ーよ錯れべでの救に刺し確外付かかいいに見を  
がろ持状氣ち息ぶ所。医つ。よ息ていりと。誤まツア数急応激てか来きしらま”見を  
し姿ち態持が子りさ 師た そ子く。た急わししトセ分外答をぐに添く しそ送して帰  
まはにをちあさとれ聞にの にされこいにたてたにスで来な与つ車戻いな急たうる  
し、な導がりんの、け頭か 結なるの。動しいが移メ何にしたイつでつに。い際“ら  
た何りい無、にこ息ばを。 局のんま帰きはる、動ンが搬。てりスてきた反 い”もれる  
。處また反早迷と子、下救 受診 まし話こう脱さト起送すも。にらた。応 ながう  
かしの応く惑。さどげ急 診察 死 だこち力せしきとぐ無呼 つ息見が

## お祓いなんでも 一燈社

フォーラムでは随時特別講演参加希望者を募集しています。

電話&FAX 03-3411-8043 携帯090-2228-3501

事務局 西原 木村

## 一燈社フォーラム伝言板

仏教・神道の伝導:講師 木村恵白 西原絞陽

外部講師による講演:自薦他薦希望者募集中

仏事・神道に関する相談は随時 何でも可

会場	後半	前半	◎	九次月回	一燈社は会費で運営され 年会費一万二千円	一燈世談余録
セ渋谷区タ ン谷区タ ー総桜丘 大合和田 和文化二 二 F	講氣 師学 方位	講神 師道	一 月 二 日 (土 曜 日)	一燈社 フオーラム (土曜日)	会員が樂 しい 社会が樂 しい 働く人が樂 しい	一燈社心得